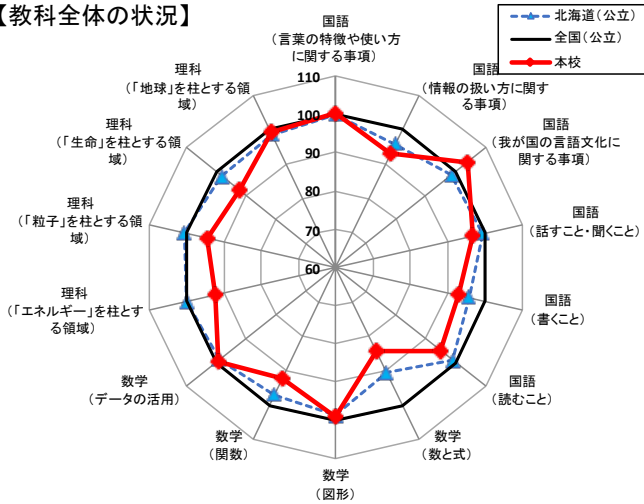


# 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果分析について〔釧路市立景雲中学校〕

令和4年9月30日

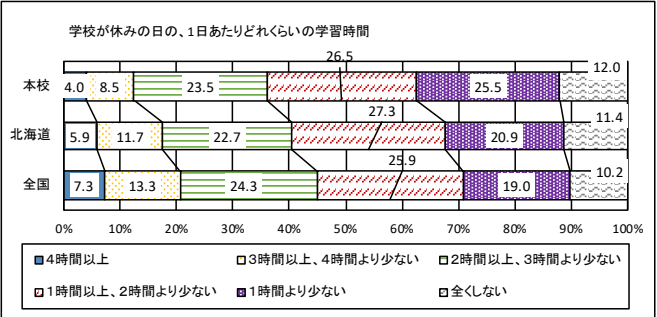
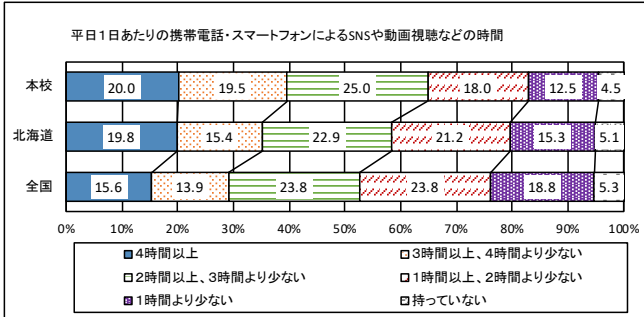
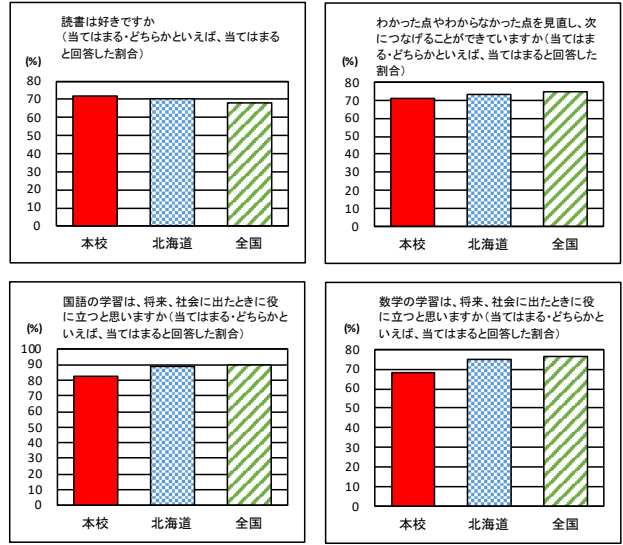
今年度4月19日に実施されました令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果が、過日、文部科学省から公表されたところです。本校においては、届きました結果を分析し、今後の対策や教育活動等の改善について検討してきました。つきましては、その概要と今後の取組の方向性をお知らせいたします。

## 【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本校の状況をレーダーチャートで示したものの(本校の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

## 【生徒質問紙調査】



## 【分析】

分析		成果	課題
教科	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つの領域で、全国平均と同程度かそれ以上である。</li> <li>○ 知識・技能の観点で、全国平均と同程度である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「情報の扱いに関する事項」「書くこと」「読むこと」の設問で、正答率が低く、全国平均を下回っている。</li> <li>● 記述式の設問で無解答率が高いが、正答率が全国平均と同程度の設問もあり、二極化の傾向にある。</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つの領域で、全国平均と同程度である。</li> <li>○ 選択式の問題形式で、全国平均を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「数と式」や「関数」分野を苦手としている生徒が多い。</li> <li>● 思考・判断・表現の観点の正答率が低く、全国平均を下回っている。</li> <li>● 記述で答える設問で、無解答率が高い。</li> </ul>
	理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球を柱とする領域で、全国平均と同程度である。</li> <li>○ 観点と基準を明確にして判断する問題で、全国平均を10%以上上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各領域で全国平均を下回っていて、特に思考・判断・表現を問う設問の正答率が低い。</li> <li>● 記述で答える設問で無解答率が高く、説明する設問では40%が無解答である。</li> </ul>
生徒質問紙		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている」と回答した生徒が90%を超え、全国平均を上回っている。</li> <li>○ 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した生徒が70%を超え、全国平均を上回っている。</li> <li>○ 「読書が好き」と回答した生徒が70%を超え、全国平均を上回っている。</li> <li>○ 「学校でのPCなどの活用」について、さまざまな場面で使っていると回答する生徒がとても多く、1人1台端末が活用されていると言える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SNSや動画視聴の時間が全道・全国に比べて長い。</li> <li>● 将来の夢や目標を持っていると回答した割合が、全道・全国に比べて低い。</li> <li>● 学習時間を全道・全国と比較すると、その差は平日は小さいが土日は大きいことから、休日の学習習慣に課題があると言える。</li> <li>● 「やり遂げようとする」「失敗を恐れなくて挑戦する」と回答した生徒が多い一方で、「困っている人を進んで助けようとする」と回答した割合が低いことから、「学びに向かう集団づくり」に課題があると考えられる。</li> <li>● 国・数・理ともに「(教科)の勉強は好き」「(教科)の勉強は大切だと思う」「(教科)の勉強は役に立つと思う」と回答する生徒の割合が全道・全国と比べて低い。</li> </ul>

## 【今後の本校の取組】

- ◎ 国語や数学に限らず、各教科の授業で、仲間とともに思考したり自分の考えを表現したりする場面を多く設定し、思考力・判断力・表現力を伸ばします。
- ◎ とくに授業の導入では、問題を工夫して「なぜだろう」「やってみよう」と前向きに取り組めるような課題を生徒と一緒に設定します。
- ◎ 授業の終末では学習内容を振り返る場面を設定し、わかったことや疑問、学習内容をどう生かすかななどを共有、学習内容の定着だけでなく学びに向かう態度を育てます。
- ◎ ひとりひとりの学力向上ためには「共感的・協働的な学び合い」が不可欠と考え、学級経営や教科経営などさまざまな角度から学びを支える集団づくりをします。
- ◎ 総合的な学習の時間や学校行事を有効に活用し、将来の夢や目標を持ち、地域社会に尽力しようとする生徒を育てます。

## 【家庭にお願いしたいこと】

- ◎ 土日など学校が休みの日の学習時間が少ない実態をご理解いただき、学習習慣確立のためのお声かけをお願いします。
- ◎ お子さまの携帯電話・スマホ・PCなどの使用時間や時間帯、使い方などの状況を把握していただき、適切な範囲での使用となるようご指導をお願いします。